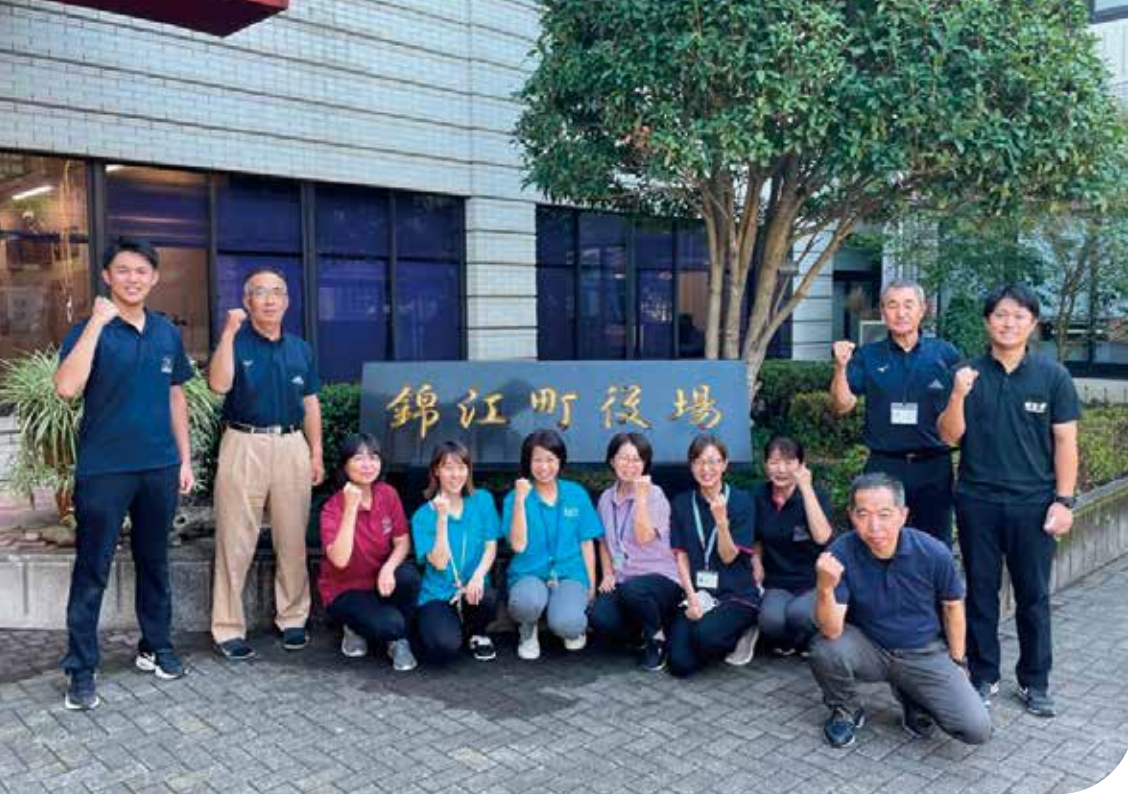


保健師 ルポ



錦江町健康保険課の皆さん(筆者左5人目)

子や孫へ希望溢れる未来を 創りつなぐまち錦江

錦江町 健康保険課 保険チーム 保健師 上吹越 智子

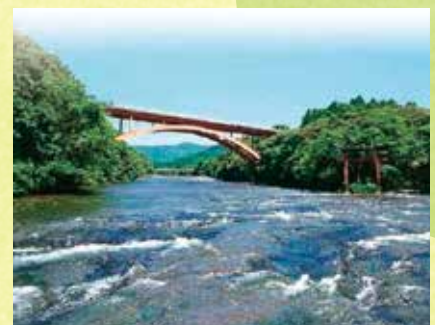
錦江町の紹介

錦江町は、鹿児島県の大隅半島中南部に位置し、人口6458人(2023年9月1日時点)、高齢化率47・3%、出生数は年間30人前後の超少子高齢化の町です。2005年(平成17年)に旧大根占(おおねじめ)町と旧田代町が市町村合併し、錦江町となりました。町名は、町の西側に広がる錦江湾(鹿児島湾)に由来されます。

町の総面積は、163・15平方キロメートルで、地形的には海岸地帯、中部高原地帯、稲尾岳・荒西山等の標高500mから1000m級の肝付山地からなる森林山岳地帯の三つに大別されます。神川大滝公園や花瀬公園では移り変わる季節の山々の景観を楽しむことのできる森林浴に最適な自然公園に恵まれ、花瀬川上流の奥花瀬一帯は豊かな自然林に囲まれた避暑スポット、花瀬公園まつりや



神川大滝公園



花瀬公園

錦江レゲエ浜まつりは錦江町を代表するイベントになっています。農業が主な産業で、ピーマンなどの園芸作物やサツマイモ、ばれいしょ、お茶や加工用大根など多様な作物が耕作されています。また、黒毛和牛などの畜産も盛んです。雄大な桜島・薩摩富士といわれる開聞岳を望み、日本一の素晴らしい錦江湾の夕景が展望できます。

錦江町の基本理念である「子や孫へ、希望あふれる未来を創りつなぐまち」の実現を目指して、住みよいまちづくりを進めています。第2錦江町総合振興計画10の基本計画にある「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」を中心に疾病の予防対策を推進し、早期発見早期治療および高血圧等の生活習慣病重症化予防対策に重点を置いた事業を展開するとともに、高齢者の一体的な支援対策に取り組み、町民が自ら積極的に心と体の健康づくりに取り組めるよう実施してい



錦江町公認ゆるキャラ「でんしろう」

ます。

健康保険課は保険チーム、健康増進チームの2つのチーム制となっており、健康保険課長、保険チーム事務職3名、保健師1名、会計年度任用職員（看護師1名、レセプト点検員1名）嘱託管理栄養士1名、健康増進チーム事務職1名、保健師1名、管理栄養士1名、会計年度任用職員2名（事務1名、看護師1名）シルバー人材センターより派遣1名の計15名が配置されています。

私が所属する健康保険課保険チームでは特定健診をはじめとする保健事業、高齢者の一体化事業などを中心に、健康増進チームや介護福祉課等と連携し実施しています。

特定健診未受診者対策事業を充実させ、特定健診の受診率UP

錦江町は今まで様々な特定健診受診勧奨に取り組むもののなかなか結果につながらず、今後の未受診者対策をどうすべきか悩んでいました。特

に令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に影響を受け事業ができなかったり、健診が延期されたりで通年600〜700人の集団健診の受診者数が令和3年度517人と減少しました。健診を受診する機会が失われ、病院受診もできなくなるのではないかと、健康状態の未把握者が増えるのと重症化のリスクが上がりが医療費が上がっていくのではないかと危機感を強く感じていました。このままではいけないと、令和3年度は病院受診者に絞る訪問による受診勧奨を行うことになりました。内容としては各家庭を保健師、看護師が訪問し、情報提供について説明、また個別に健康相談の実施、各家庭の訪問を行いました。直接お会いすることで健診や病院での治療の継続の重要性をお伝えすることができたように感じました。集団健診受診者は減少しましたが、情報提供による受診者増により健診受診率は55%と令和2年度を超える結果になりました。ただし錦江町は令和3年度まで特定健診の受診率が55%と前年度よりはふえたものの目標である60%を一度も超えることができておりませんでした。

そこで、令和4年度は以下の工夫を加えました。集団健診は学区の会場で行うこと、各種がん検診と同時に特定健診を受けることができるミニドック（集団健診）の実施、わかりやすい健診申込票の作成、広報誌と健診申込票のコラボ周知、自治会長

に協力をいただき申込時に自治会無線にて申し込み勧奨、申し込み方法の多様化（健診申込票、電話、オンライン申込等）の実施、そして人工知能を活用した未受診者対策事業の取り組み、受診勧奨（情報提供）訪問、個別健診の取り組み等を行いました。すると、健診申込者が前年度より100名増となり、町民への受診勧奨の結果につながったと思います。また、人工知能を活用した受診勧奨ハガキに情報提供情報も書き込み、郵送後専門職による受診勧奨訪問を実施したとき、介入がしやすく情報提供の理解度も上がり、情報提供の提出者が定着してきたように思えました。令和4年度の法定報告の結果はまだ出ていませんが、町内で集計した結果令和4年度受診率は約63%となり目標を達成することができました。

多職種による結果説明で住民の健康意識をUP!!

特定健診受診後の結果報告会を、健診会場ごとで（学区）実施しています。特定保健指導対象者はもちろん、重症化予防（糖尿病、CKD、高血圧）の対象者、フレイル予防のため口腔機能低下者（嚥下テスト結果2回以下）に時間制にして、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、看護師による多職種で保健指導しています。保健指導対象者に選ばれた方は、会場だけではなく、訪問、面接など多

様な方法で必ず結果をお伝えしています。錦江町は高血圧が多く、令和3年度よりナトリウム検査を新たに追加検査として実施しています。推定塩分摂取量、カリウム量、ナトリウム比等数字で塩分量を把握できるので、より詳しく栄養指導がしやすくなりました。健康増進チームとも連携し、小中学生の尿中塩分測定も実施しています。小中学生とその家族に早期介入を行うことで未然に防ぐことができるよう情報発信をしています。

健康でいきいきと暮らせるまち錦江をめざし、町民の方々のライフスタイルや思いに沿いながら日々健康づくり、町づくりを実施しています。一人の力ではできないことも健康保険課のスタッフが協力して多職種で支援することで保健事業が充実していきます。これからは住民一人一人の力、地域の力を最大限に発揮できるように健康づくりへの支援を実施できたらと思っています。



多職種による保健指導を実施